

認知症について

下仁田厚生病院内科

多胡洋子

(物忘れと認知症)

最新の調査によると、日本で認知症の人は462万人。予備軍の人は400万人とも言われています。

もの忘れには病的なもの忘れと年齢相応におこってくる生理的なもの忘れが存在します。病的なもの忘れはやがて認知症という重大な病氣につながっていくことがあります。

病的なもの忘れでは、もの名前といった狭い範囲の思い出しができないだけでなく、以前に自分のした経験そのものが残らないという忘れ方をします。

また思い出せないというだけではなく時間の感覚があいまいになり、日付や曜日、季節などがわからなくなったり、今いる場所がわからなくなったりします。

このような記憶障害がおこると、日常生活に支障が出てきます。計段取りよく物事を進めたり、計

画したりすることが難しくなるからです。

具体的には買物をするのが難しくなったり、料理をすることが困難になったりします。

また生理的なもの忘れでははつきりとしたもの忘れに対する自覚がありますが、病的なもの忘れでは、自覚はあるものの表面的です。

自分を省みるためには、今自らがおこなった行為を、過去の経験に照らし合わせて検証するという手続きが必要となりますが、今行った行為が記憶から消えてしまっていますから、検証のしようがないのです。できないことに対しては、ご本人はできないのではなくやらないのだと言い、またさかんにいいわけをするようになります。

(認知症)

認知症とは記憶障害とそれ以外の認知機能障害(抽象思考の障害、判断の障害、言葉、動作、認知、ものごとを計画立てて行う能力などの障害)が存在し、社会的または職業上の能力の低下を来たした状態のことを言います。記憶障害だけあって、他の認知機能

は正常で、日常生活に問題がない場合、加齢による良性のもの忘れや軽度認知機能障害(MCI)と呼ばれるものを含んでおり、その時点では認知症とは診断されません。

また、意識障害や抑うつ状態のときにも認知症と似た症状を示すことがあるため注意が必要です。

認知症を来たす疾患はさまざま多く、アルツハイマー病やピック病などの神経変性疾患、脳血管障害による認知症、下垂体や甲状腺などの内分泌器官の機能低下によるもの、肝臓や腎臓などの臓器の不全によるもの、ビタミンB1欠乏など栄養障害によるもの、心不全や呼吸不全などによる低酸素脳症、抗精神病薬、抗うつ薬などの医薬品によるもの、一酸化炭素や重金属、有機化合物などによるもの、ヘルペスウイルスによる脳炎や結核性髄膜炎、神経梅毒などの中枢神経感染症、脳腫瘍、正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫や脳挫傷など頭部外傷に伴うもの、悪性腫瘍に伴うもの、てんかんなどがあります。これらの疾患の中には、治療によってほとんど元通りに回復するものもあるため、

できるだけ早く正確な診断を受けるようにする必要があります。

2014 連合群馬ふれあいフェスティバル in 富岡開催

▽テーマ 働く力で活力ある地域づくり

▽日時 5月25日(日)午前10時～午後3時まで

▽会場 富岡小学校校庭、体育館

▽内容 仮面ライダーショー・エア遊具・ゲームコーナー・模擬店出店など

▽問合せ先 連合群馬富岡地域協議会

☎ 64-10557



ジオパークで
地域に活力を!!

ジオパーク推進だより

下仁田町自然史館(ジオパーク推進室)
下仁田町大字青倉158-1
☎70-3070 FAX67-5315
<http://www.shimonita-geopark.jp/>

行事報告

- 3月 9日 現地観察会『まちなかと旧田島屋倉庫』 21名
3月11日 下仁田高校『科学と人間生活』 60名
3月21~23日 湯の沢トンネル開通10周年記念スタンプラリー
3月23日 湯の沢トンネル開通10周年記念式典
3月24日 高崎商科大学 まちなか散策ツアー 10名

自然史館の利用他

- 3月15~17日 本宿陥没研究会
3月25~27日 関東山地団体研究グループ

行事予定

- 現地観察会 『初夏の奥栗山』
日 時 6月22日(日) 10時~15時
集 合 栗山緑地広場
内 容 岩盤の作り出す渓谷美を楽しみながら散策します。
申込み ジオパーク推進室 ☎0274-70-3070
※土日祝日も申込みいただけます。



▲奥栗山溪谷



▲三段の滝

ネギとコンニャク・ジオパーク 山岳信仰の山「秋葉山」

秋葉山から五州(ごしゅう)の尾根にはたくさんの石造物があり、信仰心の厚い地域であることは先月ご紹介させていただきました。

それでは石造物を作り、尾根上まで持ち上げた労力と財力はなんであったのかに興味を持ち、過去のデータから推測してみました。

明治11年に発行された上野国郡村誌に西野牧村(旧西牧村)の産業構造などの記載があります。馬居沢は旧名でいくと森平村にあたり、西牧14ヶ村には現在の上小坂漆萱と旧松井田町の入山、恩賀が含まれます。

西牧関所を守るためには峠を越えた14ヶ村で守る必要があったようです。

上野国郡村誌によると主生産物は生糸・麻・楮の皮・炭などが主生産物、産業であったと記されています。14ヶ村の記録を旧森平村(馬居沢)と置き換えるのは強引ですが、馬居沢地区の産業も同様であったと推測され、こんにゃく生産が普及するまでは、養蚕・製糸が主産業であったと思われます。

これは西牧地区に限ったことではなく、組合製糸で栄えた下仁田町全体の産業構造でもあったと思われます。養蚕は価格変動も大きく、また天候に左右される桑の生育状況、病虫害による当たりはずれも大きかったため、余計に信仰深くなったのかもしれない。地元の人との懇談の中で印象的であり、かつ、戦後の地域産業の裏付けの話を聞くことが出来ました。

「四反歩の蒟蒻畑があれば十分な生活が出来た」そのため他の作物への転換が遅れてしまったと話されていました。また、一代交雑種(F1)の養蚕を作るため、雌雄別飼いの養蚕を行い、繭量ではなくさなぎの生存率で繭価が決まり、かなりの高収入が得られたとも話されていました。

蚕種製造のためには河川近くの風通しのよい砂地の畑での桑が必要不可欠であったので、馬居沢川の清流沿いの畑は適地だったのかも知れません。馬居沢地区には河川沿いにはしる旧道にも多くの石造物を見ることが出来ます。なかにはちょっと変わった双体道祖神や「みるめ神社」など聞きなれない神社も見ることが出来ます。

※下仁田町自然史館では、午前9時から午後4時まで展示室を開放しています。ぜひお出かけください。

問い合わせ先 下仁田町自然史館(ジオパーク推進室) ☎70-3070



▲三体の石造物